

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)箱根強羅プロジェクト	階数	地上7階、地下1階
建設地	足柄下郡箱根町強羅字強羅1300番83、1300番84、1300番93、1300番166、1300番167の一部、1300番168の一部、1300番762、1300番217の一部	構造	RC造
用途地域	準防火地域、特別用途地区(第3種観光地区)	平均居住人員	170 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2030年1月 予定	評価の実施日	2026年5月28日
敷地面積	8,646 m ²	作成者	株式会社 久米設計
建築面積	5,015 m ²	確認日	2026年5月28日
延床面積	15,070 m ²	確認者	株式会社 久米設計

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

The BEE Rank Chart plots Environmental Quality (G) on the y-axis (0 to 100) against Environmental Load (L) on the x-axis (0 to 100). The chart is divided into regions S, A, B+, B-, and C. A green triangle indicates a BEE of 1.0, with a corresponding green line connecting G=57 and L=55. The value 55 is also marked on the x-axis.

2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

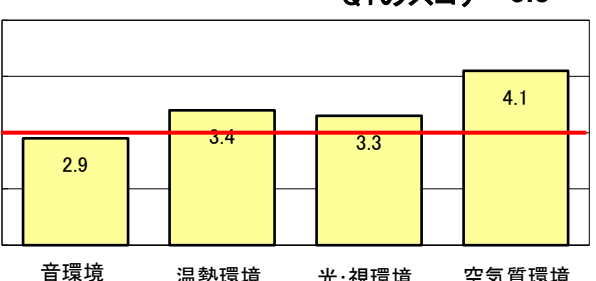
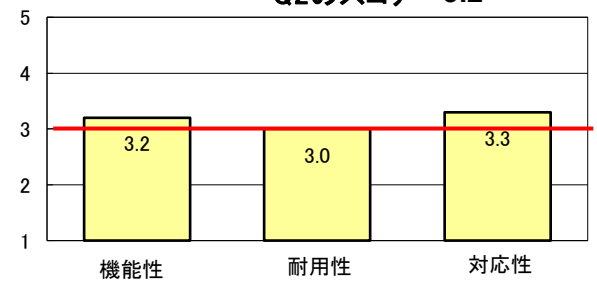
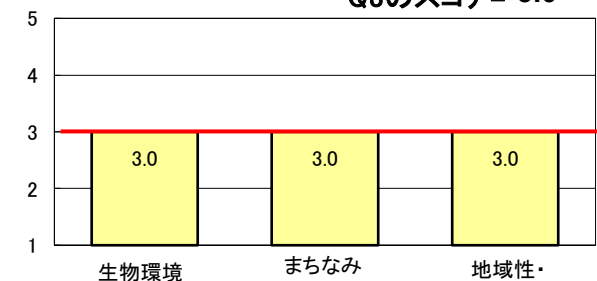
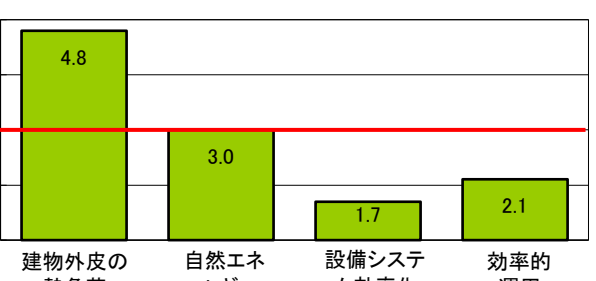
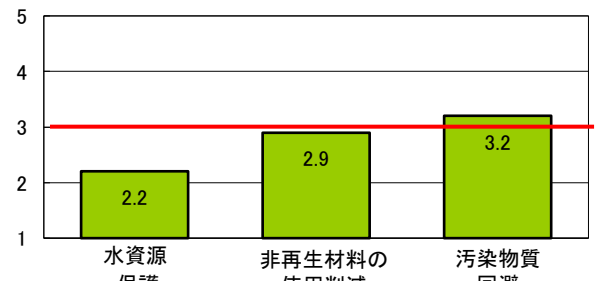
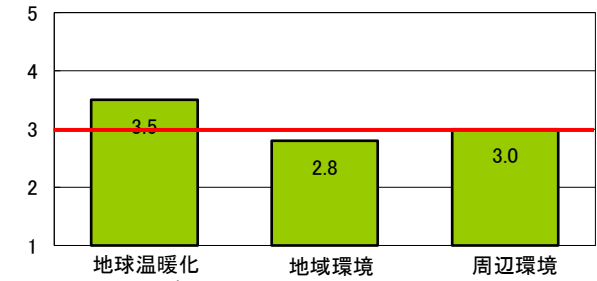
	建設	修繕・更新・解体	運用	ロンスイト	ロフサイト
①参照値	100%				
②建築物の取組み	86%				
③上記+②以外の	86%				
④上記+	86%				

0 100 200 300 (kg-CO₂_{eq}/年・m²)

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

The Radar Chart evaluates six categories: Q1 室内環境 (Indoor Environment), Q2 サービス性能 (Service Performance), Q3 室外環境 (敷地内) (Outdoor Environment (On-site)), LR3 敷地外環境 (Off-site Environment), LR2 資源・マテリアル (Resources & Materials), and LR1 エネルギー (Energy). The chart shows scores for each category, with a red line indicating the overall performance level. The scores are: Q1 3, Q2 4, Q3 3, LR3 3, LR2 3, LR1 3.

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
Q のスコア= 3.2		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア= 3.5	Q2のスコア= 3.2	Q3のスコア= 3.0
		
LR 環境負荷低減性		
LR のスコア= 2.7		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 2.5	LR2のスコア= 2.8	LR3のスコア= 3.1
		

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
ホテル施設の設計として、快適な室内空間と建物の長期的な機能維持に配慮した建築計画とする。	—	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
優れた外皮性能により温熱環境の向上に配慮する。音・光・空気室環境の向上に配慮し、優れた室内環境の実現に貢献する。	客室を広く確保することで快適な室内空間の実現に配慮している。ダクトや給排水管に優れた材料を使用することで、建物の長寿命化に貢献する。	—
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物外皮の熱負荷を抑制し、優れた外皮性能の実現に貢献する。	石膏ボードの捨て貼工法や事務室系の室へのOAフロアの採用により、部材の再利用性向上に配慮する。不活性ガス消火設備の使用により、地球環境への影響に配慮する。	WLC排出率を100%未満に抑えることで、地球環境への影響に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。

■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される